

(十六丁ウゝ十七丁オ)

- ① うらなひをたのむとミれば、その人やまひをうくる事あり、用じんすべし、
- ② 五色ごしきの紙かみをミれば、大いに福有ふくゆうになるしるしなり、
- ③ 橋はしのうへにておゝいにわれをよぶとミれば、おうたいと勝負事しようぶにつよくかちをえるなり、
- ④ 橋をわたると見れば、婚姻こんいんのえんあるべし、
- ⑤ 橋の事おつるとミれば、口ぜつありて大いにあしく、
- ⑥ 橋ぐいおれるとミれば、子そんにわざハひありてあしく、
- ⑦ あまざけをのむとミれば、しんるいともだちといさかひをなし口ぜつたへず、つゝしむべし、
- ⑧ 人にたゝかるゝとミれば、ちからをまして仕あわせよし、
- ⑨ 人とたゝきあふと見れば、きんぐをまうける也、
- ⑩ 人とあらそふと見れば、したしきにわかるゝことあり、
- ⑪ 全身みうちどろによごるゝと見れば、よろづの事とゝのひがたく大にあしく、
- ⑫ 山を見るハ、すべて吉也、ふじの山ふじなどを見るにハ、下より仰あふぎてのぞミ見るとみればよし、
- ⑬ 山へ登ると見れば、よろしからず、つゝしむべし、
- ⑭ やねのうへに楓の木はへしげると見れば、よろづこゝろのまゝになり大吉なり、
- ⑮ 新あたらしきくらを建たてつくと見れば、そんしつおゝくて大にあしく、
- ⑯ 雪隠せっちんへはまつてあがると見れば、一さいにとく付ておゝいニよし、

⑪^{せつちん}雪隠にてきるものよごるゝと見るも、さいわいありて吉相^{きっさう}なり、